

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（9月分）

留学先大学：ラトガース大学

氏名：内藤 来

<はじめに>

福井大学国際地域学部3年生の内藤です。8月下旬からアメリカでラトガース大学に留学しています。今回は最初の月例報告書になるので基本的な大学の情報について書こうと思います。

<ラトガース大学について>

ラトガース大学はアメリカ、ニュージャージー州に位置するアメリカで8番目に古い州立大学で、36,000人ほどの生徒が通っているととても大きな大学です。留学生の数もとても多く全生徒の中の6,000~7,000人は留学生が占めており、130もの国からラトガース大学に留学に来ています。しかしそのほとんどは大学で卒業することを目的としている正規留学生で、自分と同じ時期に来た交換留学生は50~60人ほどでした。



リビングストーンキャンパスの一部分

<キャンパスについて>

ラトガースのキャンパスは少し複雑な形になっています。まずラトガースにはニューブランズウィック校、カムデン校、ニューアーク校と3つのスクールがあって、自分が通っているニューブランズウィック校の中には4つのキャンパスがあります。その4つのキャンパスそれぞれに複数の寮があり、多くの生徒が寮生活をしています。とっている授業全てが一つのキャンパスの中で行われることはあまりないので、違うキャンパスに授業を受けに行く際にはキャンパス間を走っているバスを使います。またそれぞれのキャンパスもかなり大きいため、キャンパス内での移動にも使われています。どのキャンパスにも緑がとても多く、開放的なキャンパスになっています。

<バスについて>

ラトガースのバスは目的地別に種類が分かれていて、自分の行きたいキャンパスに向かうバスに乗ります。料金は一切かかりません。また学生であることを証明する必要もなく、乗ろうと思えば誰でも乗ることが出来ます。大体基本的には1時間に8本程度運行していますが、時間帯によって違ってきます。運行本数は少なくなりますが

早朝から深夜まで、また土曜日日曜日も走っています。一応時刻表はありますが時間通りに来ることも少ないので誰も見ていません。ただ数分待っていればバスは来るのでとにかくバス停に行ってバスを待つという形になっています。それぞれのキャンパスまでは大体 20 分くらいかかります。バスの込み具合は特に規則性がないので、混んでいるかは全く予測できません。

<食事について>

留学生の多くはセミスターが始まる前にミールプランを購入します。210 のプランや 120 のプランなどおよそ 8 個のプランがあります。1 回食事をするごとにその数字が 1 ずつ引かれていきます。ここでの一回は入ってから出るまでの一回なので、実質食べ放題と同じです（ダイニングホールの場合）。しようと思えば朝から晩までダイニングホールにいることも可能です。一回分の値段はあまり安くなく、一番多いミールプランでも一回分に計算すると 10 ドル程度かかります。しかしミールプランなしでダイニングを食べるにはその 1.5 倍くらいかかります。

それぞれのキャンパスには 1 つずつダイニングホールがあり、ほかにもお店など食事できる場所がそろっています。店によってはミールプランが使える場所もあります。食事はビュッフェ形式になっています。料理の種類はとても豊富です。一日ごと、時間帯ごとにメニューは変わるので飽きる心配はあまりありません。またそれぞれのダイニングは全く同じではなく、少しずつ違っていています。例えばあるダイニングは中華があったり、ほかのところはスムージーのコーナーがあったりなどそれぞれの特色があります。

<おわりに>

初めて海外に長期滞在するということで少し身構えていきましたが、特に今のところストレスを感じることは何もなく、充実した生活を過ごせています。大学があるニューブランズウィック市もあまり都会ではなく、かといって田舎でもない福井市のような感じで、さらに気候も日本と似ているので自分にとってはとても落ち着いた環境です。

今回はあまり授業のことについて書くことが出来なかったので次回はそのことについて書こうと思います。



ラトガースのホームゲームの写真